

かぜとインフルエンザの話

「今月のドクター」
串間市民病院
総合診療科
いいば 良太先生

Q1 かぜを引きました。原因は何ですか？

A1 かぜの原因微生物は80〜90%がウイルスと言われています。主な原因ウイルスはライノウイルス、コロナウイルス、RSウイルス、パラインフルエンザウイルス、アデノウイルスが続きます。

Q2 かぜを引きました。抗菌薬は必要ですか？

A2 抗菌薬は細菌を壊したり、増えたりするのを抑える役目があります。かぜのほとんどの原因がウイルスですので抗菌薬は一般的には不要と考えます。

Q3 かぜと肺炎／気管支炎の違いは何ですか？

A3 いわゆる「かぜ」は、かぜ症候群と言われる諸症状(鼻水、

咽頭痛、くしゃみ、微熱が特徴的です。炎症の部位が上気道という鼻や喉に限られることが多いです。一方、肺炎や気管支炎は炎症が肺や気管といった下気道まで及んでいる状態です。**肺炎の原因は細菌が多い**ですので、抗菌薬による治療が必要となります。肺炎の症状は38度を超える発熱が数日間持続、色のついた痰、呼吸困難感、息切れなどが特徴的です。このような症状が出現した場合は特に高齢者では注意が必要です。

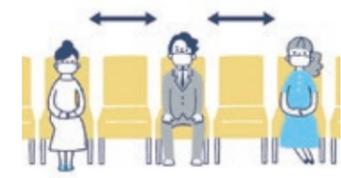
Q4 かぜとインフルエンザの違いは何ですか？

A4 インフルエンザは高熱、関節痛、強い倦怠感、寒気が特徴的です。インフルエンザウイルスが原因ですので、**抗菌薬は不要**で一般的には自宅で安静にし、水分補給をしっかりと行うことで自然軽快することがほとんどです。

抗インフルエンザ薬は高齢者や妊婦、基礎疾患を有する方には投与する場合があります。

Q5 今年のインフルエンザの流行状況はいかがですか？

A5 全国的な発生状況ですが、今年度は32件(10月26日〜11月1日)と昨年の4、682件と比べて激減しています。新型コロナウイルス感染症対策が功を奏している影響かもしれません。引き続きの感染対策(手洗い、マスク着用、3密を避ける)をお願いします。



私は3年目の医師として今年度初めてこ串間の地で勤務をさせていただきました。総合診療科の医師として、主に外来、入院、内視鏡、在宅医療、救急医療と幅広い業務に従事させていただいております。他科の先生方、スタッフと連携を取りながら、安全で安心できる医療を心がけております。

昨年まで在籍していた病院は医師が100名を超える病院でした。各診療科にスペシャリストが在籍しており、診療科も多く専門分野が分かれておりました。一方、串間市民病院は常勤の医師は10名程度とその数は限られています。宮崎大学や関連施設より医師を派遣いただき、ご支援を賜っております。この状況は串間市に限らず、どの地方都市にも当てはまる事かもしれません。

今後、地方と都市の人口の二極化はより顕著になっていきます。若者は都市へと流出し、高齢化がさらに進行します。これは医師の世界でも当てはまるでしょう。若手の医師は技術を求めて都市の医療機関を選択する傾向が続くと思われます。限られた医療資源の中で、住民の期待にこたえる医療を展開するためにはさまざまな工夫が必要になるでしょう。

これは医療機関単体では限界があると考えます。今後はこれまで以上に市民行政、福祉、医療機関が密に連携をとって、地域の魅力を発信し、よりよい診療体制や、医療職確保に向けた改革、働き方改革などを議論する必要があると考えます。住み慣れた土地で安心して生活できるためには、医療は欠かせないものだと考えます。

この地域で医療に従事できるのも、何より市民の皆さまの理解があつてこそだと思います。市民に愛され市民に創造される病院であるために、知恵と工夫が必要です。



令和3年
3月31日
まで

風しんの抗体検査は受診されましたか？

じゃがじゃが

健幸通信



串間市では、令和元年7月から、昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性に対しての風しんの抗体検査を実施し、抗体検査の結果「風しんの抗体が低い」方に対して予防接種を実施しておりますが、受診されたいでしょうか？
未受診の方は、ぜひ受診していただきますようお願いいたします。

●対象者 串間市に住所を有する昭和37年4月2日から昭和54年4月1日までの間に生まれた男性
・昭和37年4月2日〜昭和47年4月1日生まれの男性
・昭和47年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性

令和2年4月にクーポン券を発送しました。
令和元年7月にクーポン券を発送しました。このクーポン券は今年度も有効ですので、そのままご使用ください。

●実施医療機関

医療機関名	電話番号
のだ小児科医院	71-1112
いな内科・循環器科 <small>※抗体検査のみとなります</small>	71-1711
ゆうゆうの森クリニック	55-9111
市木診療所	77-0349
とめのファミリークリニック	76-1425
英医院	74-1187
串間市民病院	72-1234
串間中央クリニック	27-3181

※受診クーポン券を利用して抗体検査・予防接種を受けた旨を必ず事前に連絡してから受診していただきますようお願いいたします。

※紛失された場合は下記連絡先までお問い合わせください。
●実施期間 令和2年4月1日〜令和3年3月31日
●自己負担 抗体検査、予防接種ともに無料
●持参物
①受診クーポン券
②風しんの抗体検査受診票
③本人を確認できるもの(免許証、マイナンバーカードなど)
※受診クーポン券はシール式になっております。**はがさず、そのままの状態でお持ちください。**

●問い合わせ先 医療介護課 健康推進係 ☎72-0333(内線517)

串間市内だけでなく、市外・県外の医療機関でも抗体検査・定期予防接種を受けることができます。詳しくは厚生労働省のホームページをご確認ください。また、職場での健診などの機会にも抗体検査を受けられる場合があります。その際は、健診実施機関へ事前に確認をお願いいたします。